

つづき そら ほし ふ
都筑の空に星が降る

加羅古呂庵 一泉

都筑の空に星が降る

季節は春から夏にかけて、横浜市都筑区の夜空の情景を、酒泉 彰氏が詩にしてくださいました。都筑の地は、港北ニュータウンの開発で街の明かりも増え、夜空の星も見えにくくなりましたが、田畑や里山が広がっていたひと昔前、西方の山なみを望む夕暮れに星の光が現れ、やがて満天に広がって、幻想的に輝く姿がイメージとして浮かんできます。

川和富士 ひとり登れば 風そよぎ

西の方 夕日がにじむ 茜雲 遙かに浮かぶ 麗しき富士

空深く 薄くれないの 春の暮れ

仰ぎ見る 日は山際に 沈みゆき 麓の街に ともしび灯る

小夜更けて 静寂が包む 空見れば

金色の 一番星が 顔を出し 雲の晴れ間で きらきら光る

今日もまた 都筑の空に 星が降る

巡りゆく 夜空の流れ 思い馳せ

一筋の 流れる星に 夢託し 希望の光 銀河を渡る

白金の 月の光に 街は照り

七夕に 母と眺めた 天の川 織姫星の 青ひ輝き

見るたびに 幼き日々を 思ひ出す

星たちは 煌めきながら 集まりて 鮮やかなりし 満天の星

今日もまた 都筑の空に 星が降る

©2021 酒泉 彰

歌については、男声と女声による2部になっています。各パート1人でもいいですし、複数の合唱でもいいでしょう。楽器は、箏×2、十七絃、尺八ですが、どれか1パートは歌の旋律をなぞるようにしています。伴奏に終始するのではなく、歌と歌の間に楽器だけの演奏部分を設けました。なお、歌は単純な繰り返しではなく、詞に合わせて旋律を少し変えています。

(注) 縦譜では、歌を箏(花雲調子で、一をFに調弦)で記しています(歌は調弦替えなしで記載)。男声は女声より1オクターブ下です。

The musical score is arranged vertically. At the top is the '尺八' (Shakuhachi) part, followed by '歌(男声)' (Male Song) and '歌(女声)' (Female Song). Below these are two '箏' (Koto) parts, labeled '箏 I' and '箏 II', both using '花雲調子 一をF' (Hanagumo Tuning, One string F). At the bottom is the '十七絃' (Jūshichigen) part. The lyrics are written below the vocal lines and above the koto parts. The lyrics are: 口 ビ, 二 三 五 七 九 斗 為 巾, 二 三 五 七 九 斗 為 巾, 二 三 五 七 九 1 3 5 7.

運指、奏法については、適宜工夫していただいってください。

都筑の空に星が降る

酒泉 彰 作詞
加羅古呂庵 一泉 作曲
2021. 9. 18

♩ = 96 in D

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I

箏 II

十七絃

mf

f *mf* *f*

f *mf* *f*

f *mf* *f*

8

♩ = 84

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I

箏 II

十七絃

poco rit. *mf*

poco rit. *mf*

かわわふじ ひとりのぼれば かぜそよぎ にしのかた

poco rit. *mf*

にしのかた

mf *mf*

poco rit. *mf*

mf *mf*

poco rit. *mf*

mf *mf*

13

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I

箏 II

十七絃

ゆうひがにじむ あか-ねぐも はるかにうかぶ うる-わしきふじ

ゆうひがにじむ あか-ねぐも はるかにうかぶ うる-わしきふじ

六を半音下げ F→E

六・斗を半音下げ F→E

18

B

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I

箏 II

十七絃

mf

mf

あおぎみる

mf

そらふかく うすくれないの はるのくれ あおぎみる

mf

mf

mf

23

尺八

歌(男声)

ひはやまぎわに しずみゆき ふもとのまちに ともしびともる

歌(女声)

ひはやまぎわに しずみゆき ふもとのまちに ともしびともる

箏 I

箏 II

十七絃

28

尺八

歌(男声)

歌(女声)

さよふけて しじまがつつむ そらみれば

箏 I

箏 II

十七絃

C

34

尺八

歌(男声)

mf
こんじきの いちばんほしが かおをだし

歌(女声)

箏 I

箏 II

十七絃

D

40

尺八

歌(男声)

歌(女声)

mf
くものはれまできらーきらひかる

箏 I

箏 II

十七絃

E

六を半音上げ E→F

六・斗を半音上げ E→F

mf

45 **F**

尺八 *f < ff*

歌(男声) *mf* きょうもまた *ff* つづきのそらに ほしーが ふーる

歌(女声) *mf* きょうも また *ff* つづきのそらに ほしーが ふーる

箏 I *mf* *ff*

箏 II *ff*

十七絃 *ff*

50 **G** ♩ = 84

尺八 *poco rit.* *poco a poco accel.* *mf*

歌(男声) *poco rit.* *poco a poco accel.*

歌(女声) *poco rit.* *poco a poco accel.*

箏 I *poco rit.* *poco a poco accel.*

箏 II *poco rit.* *poco a poco accel.*

十七絃 *poco rit.* *poco a poco accel.* *mf*

55 **H** ♩ = 88

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I *mf*

箏 II

十七絃

59 **I**

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I *f*

箏 II *f*

十七絃 *f*

63 **J**

尺八 *mf*

歌(男声)

歌(女声)

箏 I *mf*

箏 II *mf*

十七絃 *mf*

67 **K**

尺八 *mf*

歌(男声)

歌(女声)

箏 I *f* *mf*

箏 II *f* *mf*

十七絃 *mf* *f*

72 **L** ♩ = 84

尺八

歌(男声) *rit.* *mf*

歌(女声) めぐりゆく よぞらのながれ

箏 I *rit.*

箏 II *rit.* *f* *mf*

十七絃 *mf* *rit.* *f* *mf*

77

尺八 *mf*

歌(男声) おもいはせ ひとすじの ながれるほしに ゆめたくし きぼうのひかり

歌(女声) *mf* ひとすじの ながれるほしに ゆめたくし きぼうのひかり

箏 I *mf*

箏 II

十七絃

82 M

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I

箏 II

十七絃

ぎん-がをわたる

六・斗を半音下げ F→E

しろかねの つきのひかりに

六を半音下げ F→E

mf

mf

mf

mf

87

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I

箏 II

十七絃

mf

mf

たなばたに ははとながめた あま-のがわ おりひめぼしの

まちはてり たなばたに ははとながめた あま-のがわ おりひめぼしの

mf

mf

mf

mf

92 N

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I

箏 II

十七絃

あお-ひかがやき

あお-ひかがやき みるたびに おさなきひびを

mf

mf

mf

mf

98 O

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I

箏 II

十七絃

ほしたちは きらめき

おも-ひだす

mf

mf

mf

mf

103

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I

箏 II

十七絃

P

ながら あつまりて

mf あぎやかなーりし

mf

108

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I

箏 II

十七絃

Q

mf きょうもまた

ま ー て ん の ほ し きょうも

六・斗を半音上げ E→F

六を半音上げ E→F

mf

113

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I

箏 II

十七絃

R

f < *ff*

ff つづきのそらに ほしーが ふーる

また つづきのそらに ほしーが ふーる

ff *mf*

ff *mf*

ff *mf*

118

尺八

歌(男声)

歌(女声)

箏 I

箏 II

十七絃

rit. mf

rit.

rit.

rit. *mp*

rit. *mp*

rit. *mp*